



小山中央小学校 学校施設紹介



学校建設の基本方針

建設にあたっては「教育環境への配慮に優れた安全・安心で、かつ維持管理に重点を置いたライフサイクルコストを考慮した、創造性のある学校」をコンセプトとして、次のような学校作りを行っています。

- 多様な学習形態に対応し、豊かな教育活動ができる学校。
- ノーマライゼーション（障がいのある人も障がいのない人も同じように社会の一員として、社会参加し自立して生活できる社会を目指す考え方）の理念を生かした学校

小山中央小学校の特徴

オープンスペース型の普通教室を採用しています。普通教室とオープンスペースとの間に必要に応じて可動間仕切壁を設置して、多様な学習形態に対応できるようにしています。

また、十分な採光が得られるよう、全ての普通教室を南側に配置し、北側道路からの騒音の影響が少ない落ち着いた学習環境にしています。

安全面にも配慮し、児童と自動車の動線を分離し、電子錠や防犯カメラの設置のほか、職員室などの管理諸室からグラウンドや登下校の児童の様子が確認できるようにしています。敷地内には、学童保育クラブも設置されています。

太陽光発電設備やトイレ洗浄水等に雨水再利用をし、環境負荷の少ないエコスクール（環境を考慮した学校施設）としても整備しています。

また、地域開放する部屋を全て1階にまとめ、地域の文化活動やコミュニティ活動等、生涯学習の場としても利用していきます。

児童数の増加に伴い、平成23年度末にはオープンスペースの教室改造成工事を、平成24年度末には校庭に増築校舎建設工事を行いました。開校当初の普通教室保有数は20教室でしたが、開校4年目の現在は29教室となっています。



広々とした体育館

体育館と校舎を一体として配置することにより、暑さ寒さ対策に配慮しています。採光にも気を配っています。



きれいなプール

学童棟と一体になっています



オープンスペース型の普通教室
教室とオープンスペースの間に可動間仕切壁があり、様々な学習形態に対応できます。各教室の仕上げは木質系で落ち着いた環境を確保しています。



太陽光発電システム表示パネル
太陽光発電設備(10kw)、雨水再利用(地下ピット250t)便所洗浄水・校庭散水に使用など、環境に配慮した設備が備わっています。



光庭とふれあいコーナー
校庭と同じ位の広さの緑地があります。



校庭南側の保存緑地

施設概要

【敷地面積】	30,763.23㎡
平地部分	18,628.08㎡
保存緑地部分	12,135.15㎡
【延床面積】 計	11,314.65㎡
校舎棟	9,825.12㎡
増築校舎棟	866.70㎡
プール・学童棟	622.83㎡
【主要施設】	
普通教室	29教室、オープンスペース
特別教室	図工室2、音楽室2、理科室、家庭科室、図書室、パソコン室、多目的室 ランチルーム
管理諸室	校長室、職員室、事務室、用務主事室、保健室、教育相談室、PTA室
特別支援教室	学習室、実習室
通級指導教室	指導室、小教室、作業室兼調理室、プレールーム
その他	調理室、教材室、エレベーター
体育施設	アリーナ(38m×24m) グラウンド(7870㎡) 屋外プール(25m、6コース)



正門から校舎を見る



校庭から校舎を見上げる



アリーナ入り口付近



図書館やおおば教室前の廊下



パソコン室



図書館
蔵書はバーコード管理されています



2階コミュニケーションの教室
近くの吹き抜け



西側階段



中学年の教室とオープンスペース



ふれあいコーナー



3階の光庭



3階のトイレや更衣室前付近



多目的室



理科室



第1音楽室



第2図工室



1階光庭と吹き抜け



1階光庭と吹き抜け



開放入り口から保健室を見る



保健室前付近から昇降口を見る



高学年の教室とオープンスペース



平成23年度末に改造化工事をした教室(4教室あり)を廊下から見る



改造化工事をした教室



平成24年度末に建設した増築校舎への2階通路



増築校舎の1階
2教室と昇降口があります



増築校舎の2階
3教室あります



校庭から、増築校舎と本校舎を見る